渋沢って、埼玉らしい

新一万円札の顔
渋沢栄一翁が誕生した埼玉県

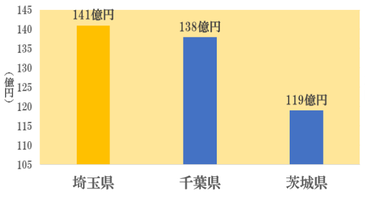
渋沢栄一を育んだ埼玉の農業

渋沢栄一は農家の生まれで埼玉県指定無形文化財である「武州藍染（ぶしゅうあいぞめ）」の藍玉を製造・販売する家で育ちました。

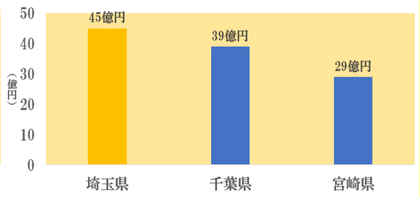
埼玉県の農業の実力！

全国で1位の産出額を誇る農産物

ねぎの産出額（2021年産）



さといもの産出額（2021年産）



注１：全国順位は数値が公表されている都道府県の中での順位　　資料：農林水産省「生産農業所得統計」
注２：資料作成機関（農林水産省）で順位付けしている。

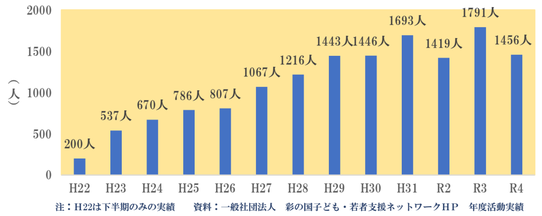
渋沢栄一が注力した慈善事業

渋沢栄一は中央慈善協会（現在の社会福祉法人全国社会福祉協議会）の設立に関わりました。

埼玉県発！学習支援の輪

埼玉県では、全国に先駆けて平成22年から学習支援事業（アスポート事業）を展開しています。

アスポート事業での学習教室参加者数（平成22年度～令和４年度）



注：H22は下半期のみの実績　　資料：一般社団法人　彩の国子ども・若者支援ネットワークＨＰ　年度活動実績

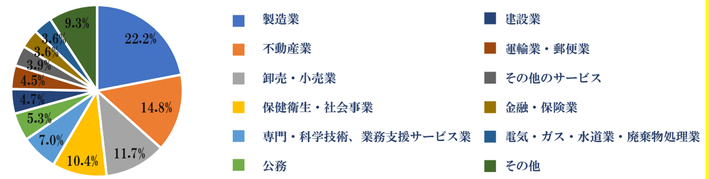
大実業家・渋沢栄一

渋沢栄一は多くの企業の設立に関わり、日本経済の発展に貢献しました。

2021年埼玉県経済の概況

2021年度の県内総生産は、名目では前年度比4.3％増の23兆7,336億円、実質では4.0％増の23兆3,643億円となり、いずれも3年ぶりのプラスとなりました。

名目県内総生産の構成比



注：控除項目総資産形成に係る消費税）があるため、合計は100％とならない。　　資料：県統計課「埼玉県県民経済計算2021年度概要」

画像出典：いらすとや、県広報課「「渋沢って、埼玉らしい」のロゴ・キャッチコピーが使えるらしい！？」　　参考：県計画調整課「渋沢栄一とＳＤＧｓ」、県文化振興課「渋沢栄一の偉業・年譜紹介」